

「宮古島市」が「地域雇用活性化推進事業」の 2度目の採択地域に決定！

令和6年度採択通知書交付式を開催しました

令和6年10月9日（水）、宮古島市役所に沖縄労働局の中島千勝職業安定部長が嘉数登宮古島市雇用創造協議会長（副市長）を訪ね、地域雇用活性化推進事業採択通知書交付式を開催しました。



左から中島職業安定部長、嘉数登宮古島市雇用創造協議会長（副市長）



地域雇用活性化推進事業とは雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域など、地域の特性を生かして、市町村自らが「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るために、創意工夫する取組を国が支援する事業です。令和6年度は、全国11地域が採択されました。

今期2度目の本事業実施となる宮古島市は「食材の機能性を軸とした地域産業連携プロジェクト」と題し、市が誇る地域資源を最大限に活用し、未来に向けた新たな産業発展を目指し、3年度間（令和6年10月～令和8年度末）で計367人の事業利用者支援、88人の新規雇用・正社員転換・創業などの実績を見込んで取組んでいく予定です。

